

被災地方言会話集

— 宮城県名取市 —

<場面設定会話>

場面設定会話の概要

収録地点 宮城県名取市

収録日時 2013（平成 25）年 2 月 2 日

収録場所 宮城県名取市愛島小豆島（話者 B 宅）

話題 【場面設定会話】
全 13 場面

話者

A	男	1947（昭和 22）年	（収録時 66 歳）	[B の同級生]
B	女	1947（昭和 22）年	（収録時 65 歳）	[A の同級生]

話者出身地

A	名取市増田（マスダ）
B	名取市増田（マスダ）

【場面設定会話】

話し手

A 男 1947 (昭和 22) 年 (収録時 66 歳)

B 女 1947 (昭和 22) 年 (収録時 65 歳)

〈 あいさつ 〉

(1) 朝、道端で友人に会ったときにどのようなやりとりを行うか。

001A : オハヨー。

おはよう。

002B : オハヨーゴザリス。

おはようございます。

003A : ズイブン ハエーゴダ。ホンナニ イソイデ ドゴサ イグノ。

随分 早いこと。そんなに 急いで どこに 行くの？

004B : ホダネー、 チョット ビョーインニ インカド オモッテッサ。

そうだねえ、ちょっと 病院に 行こうかと 思っさ。

005A : ンー、 ナヌカ ドコ グアイ ワリーノ。

うーん、何か どこ 具合 悪いの？

006B : ナンダガ、カゼデモ ヒーダンダガ、ハヤメニ ミデモラウッチャ。

なんだか、風邪でも 引いたのか、 早めに 診てもらおうよ。

007A : ウン、ホーガ。ンデ ハヤグ イッテコイ。アレ、コマネー ウジニサ。

うん、そうか。それじゃあ 早く 行ってこい。あれ、混まない うちにさ。

008B : ハーイ。

はい。

009A : ハーイ、キーツケデー。

はい、気をつけて。

(2) 昼、道端で友人に会ったときにどのようなやりとりを行うか。

001A : コンニズワー。

こんにちは。

002B : コンニチワー。

こんにちは。

003A : ヤーヤ、 スバラグブリダナヤ。

いやいや、しばらくぶりだねえ。

004B : ホントダネー。

本当だねえ。

005A : ウーン。 ナーンダ、 アイカワラズ イソイデ ドゴサ イグノ。

うん。 なんだ、 相変わらず 急いで どこに 行くの？

006B : イーヤイヤ、 オジャッコ ノンデキタノッシャ。

いやいや、 お茶 飲んできたんです。

007A : ア、 イヤヤ、 ホイズワ イガッタナヤ。 ウン。 ハイ、 インデ コンド

あ、 いやいや、 そいつは よかったねえ。 うん。 はい、 それじゃあ 今度[は]

ウツツァ イッテ、 シンマツカラノ スコ° ド スサインヨ。

うちに 行って、 昼からの 仕事 しなさいよ。

008B : インダワネー、 モハヤ シンマダワネー。 (A ンー) ハンニジ スコ° スノ

そうだわねえ、 もう 昼だわねえ。 (A うん) 半日 過ごすの[は]

ジョサネーゴダネー。 ホンジャ マズ。

造作ないことだねえ。 それじゃあ まあ。

009A : アーイ。 ホデ マツ。

はい。 それじゃあ まあ。

(3) 夜、道端で友人に会ったときにどのようなやりとりを行うか。

001A : オバンナリシター。

こんばんは。

002B : オバンデスー。

こんばんは。

003A : ヤー、ズイブン シー ミジカグ ナッテキタナヤ。

いやあ、随分 日[が]短く なってきたねえ。

004B : ホントダネー。(A シー) コダ ジガンニ ナニッシャヤ。

本当だねえ。(A うん) こんな 時間に 何ですか。

005A : アノネー、イマツカラ ノミカイ アンノ。

あのねえ、今から 飲み会 あるの。

006B : アー、イーゴダ。

ああ、いいこと。

007A : シー ハヤグ クラグナツカラ ハガイク° ナヤ。

んー、早く 暗くなるから [酒が]進むなあ。

008B : {笑} ホントダネ。マー、ユックリ ノンデ コライン。

{笑} 本当だね。 まあ、ゆっくり 飲んで いらっしやい。

009A : ハーイ。

はい。

010B : ホンデ マズ オミョーニジ。

それじゃあ まあ また明日。

011A : ハーイ、イッテクツカンネー。

はい、行ってくるからね。

〈 ねぎらい 〉

(4) Bが仕事に精を出すAと会い、Aの労をねぎらう際にどのようなやりとりを行うか。

001B : ズイブン カセク° ネー。

随分 働くね。

002A : ンダネー。スコス タマッテスマッタガラサー、ヤンネド

そうだね。少し 溜まってしまったからさ、 やらないと

ダメナンダッチャヤ。アド、スコス コス イデゲントモ ガンバッテ

駄目なんだよ。 あと、少し 腰 痛いけれども 頑張っ

ヤッテンダ。

やってるんだ。

003B : アンマリ ムリスンスナヨー。

あんまり 無理しなさるなよ。

004A : ワガッター、(B ウン) アイ。(B ハーイ) ワガリマシタ、アリカ° ドネー。

わかった、(B うん) はい。(B はい) わかりました、ありがとうね。

005B : ハーイ、カラダニ キーデ ヤッセヨー。

はい、体に 聞いて やりなさいよ。

006A : ハイヨ、アリカ° ド。

はいよ、ありがとう。

〈 勧め 〉

(5) Bが、仕事をしているAに、「少し休んでお茶とお菓子でも食べなさい」と勧める際のやりとり。

001B : ズイブン イッショーケンメーダゴダー。

随分 一生懸命なこと。

ヤスミモゴクノウチ [1] ッテユーガラ、オジャッコデモ ノンデ

「休みもゴクのうち」 って言うから、お茶でも 飲んで

名取市 場面設定会話

イップグ スサインヤ。
一服 しなさいよ。

002A : ワルイナー。ンデサー、ウーン、チョード イーズガンダガラ、
悪いなあ。じゃあさ、うん、ちょうど いい時間だから、

サググ [2] イダダッカー。ドレドレ。
遠慮なく いただこうか。どれどれ。

003B : ハイ ドーズ。
はい どうぞ。

〈 訪問時の声掛け 〉

(6) 昼間、AがB宅を訪れるときにどのように声をかけるか。また、返事をするか。

001A : コンニズワー、イダスカー。
こんにちは、 いますか。

002B : ハーイ、イシタヨー。メズラシーゴダー。
はい、いますよ。珍しいこと。

003A : ウーン、チョットサー、イヤ、スク° ニ ソーダンシテーゴド アンダー。
うん、 ちょっとさ、 いや、すぐに 相談したいこと あるんだ。

004B : アラ、ソーナノ。(A ウーン) ドーズ アカ° ライン。 アカ° ッサイン。
あら、そうなの。(A うん) どうぞ お上がりなさい。お上がりなさい。

005A : ウン。ンデー、サググ [2] アカ° ッド。
うん。じゃあ、遠慮なく 上がるぞ。

006B : アーイ。
はい。

〈 借用の依頼と受託 〉

(7) AがBにスコップを借りるときのやりとり。(Bが貸す場合)

001A : コンニズワー。

こんにちは。

002B : ハーイ。

はい。

003A : シャベル ツカワネガッタラ カシテケサインヤ。

シャベル 使わなかったら 貸してくださいよ。

004B : イーヨー。アナデモ ホンノスカ。

いいよ。 穴でも 掘るんですか。

005A : ンーダー。イマカラ ガンバッテ ヤンナクテネンダヤー。

そうだ。 今から 頑張って やらなきゃならないんだよ。

ホシタツケ オラエノ シッ チョット フツチャゲッタンダンヤヤー。

そしたら うちの ×× ちょっと 壊れてたんだよ。

006B : アー、ソースカ。 オラエノデ インダッタラ ツカワイン。

ああ、そうですか。うちので いいんだったら 使いなさい。

007A : アー、イガス イガス。 ンデ、 カリデインカンネー。

ああ、いいです いいです。じゃあ、借りていくからね。

〈 お礼 〉

(8) Aが借りたスコップをBに返しに行ったときのやりとり。

001A : コンニズワー。

こんにちは。

002B : ハーイ。

はい。

名取市 場面設定会話

003A : シャベル カリダヤズサ、ドーモ アリカ° ドネー。
シャベル 借りたやつさ、どうも ありがとうね。

004B : ハーイ。シコ° ド ハガイッタスカー。
はい。仕事 はかどりましたか。

005A : ンー、オガケ° サンデネ。
うん、おかげさんでね。

006B : アー、ホンデワ イガッタネー。
ああ、それでは よかったね。

007A : ウン。
うん。

〈 破損の謝罪・許容・不満 〉

(9) AがBに借りたスコップを壊してしまい、謝るときのやりとり。

(9-1) Bが構わないという場合。

001A : ジズワサ、チョコット コワステスマッタダヤ。
実はさ、 ちょっと 壊してしまったんだよ。

チョッ チョックラ ミデケロ。

××× ちょっと 見てくれ。

002B : ナニナニ。アヤヤヤ、イヤ、ツシャネツチャー。
なになに。あららら、いや、仕方がないよ。

オラエデモ ズイブン ツカッタガラ、キーツカウゴド ネースト。
うちでも 随分 使ったから、 気を遣うこと ないですよ。

イーガラ (A ホーガ) イーガラ。

いいから (A そうか) いいから。

003A : ホーガー。ンー ンデ ワリーナー。ドーモ アリカ° ドー。
そうか。 うん じゃあ 悪いな。 どうも ありがとう。

(9-2) Bが破損に対して不満を述べる場合。

001A : ジズワサー、チョーット、カデーイシサ ブツカッテ、
実はさ、 ちょっと、 硬い石に ぶつかって、

サジッチョ コワステスマッタヤ。ミデケロヤ。
先っちょ 壊してしまったよ。 見てくれよ。

002B : ナンダペー、ムデダゴダ。カッタバリナノニ。 オラエダッテ
なんだ、 乱暴なこと。買ったばかりなのに。うちだって

ホダニ ツカッテネーダヨ。マヤッテケサイン。
そんなに 使ってないんだよ。 弁償してください。

003A : インダナー、 コンデワ ツカエネーワナー。ンデー、マヤウガラ。
そうだなあ、これでは 使えないよなあ。 じゃあ、弁償するから。

チョット アシタマデ マッテケロナヤ。
ちょっと 明日まで 待ってくれよな。

004B : イガッスー。
いいですよ。

〈 誘いと断り 〉

(10) AがBを朝市に誘う際のやりとり。

001A : イヤヤ、 スバラグブリダネヤ。
いやいや、しばらくぶりだねえ。

002B : ホントネー。
本当ね。

003A : ウン。イマサー、ホノ、エアリ [3] ノ チューシャジョーデネー、
うん。今さ、 その、エアリ の 駐車場でね、

ユリアケ° ノ アサイズ ヤッテンダド。
閑上の 朝市 やってるんだと。

名取市 場面設定会話

004B : アラー。
あら。

005A : チョードイガッタ、イッショニ イガネガ。
ちょうどよかった、一緒に 行かないか？

006B : アイヤー、イギデгентモッサー、イマカラ オラエノ トーチャンドゴ
あら、 行きたいけれどもさ、 今から うちの 父ちゃんを

イシャサ ツレデイガナクテネーガラ、 ワルイгент コンド イグガラー、
医者に 連れていかなきゃならないから、悪いけど 今度 行くから、

マダ サソッテケサイン。
また 誘ってください。

007A : ホーガー。トーチャンノホー ダイズダガンナ。ンデ ダイズニ スロヨ。
そうか。 父ちゃんのほう[が]大事だからな。 じゃあ 大事に しろよ。

008B : ゴーメンネー。
ごめんね。

〈 お見舞い 〉

(11) 体調を崩しているBに、Aが体の調子を尋ねる際のやりとり。

(11-1) Bの調子がいい場合。

001A : コンニズワー。
こんにちは。。

002B : ハーイ。
はい。

003A : ナーンダー、アンバー ワリッテ キーデサー、
なんだ、 具合[が] 悪いって 聞いてさ、

004B : ウーン。
うん。

名取市 場面設定会話

005A : キテミダンダゲントモ、オー、カオイロ、イーヨーダナー。ドーナノ。
来てみたんだけども、おお、顔色、 いいようだなあ。どうなの。

006B : ウーン、クスリ キーダガシテ、コノコ° ロ チョーシ インダネー。
うん、 薬[が] 効いてか、 この頃 調子[が] いいんだね。

オカケ° サンデ。
おかげさんで。

007A : アー、ホンデ イガッタナー。トスナンダガラナ、ムリスンナヨ。
ああ、それじゃあ よかったな。 歳なんだからな、 無理するなよ。

008B : ハーイハイ。
はいはい。

(11-2) Bの調子が悪い場合。

001A : コンニズワー。
こんにちは。

002B : ハーイ。
はい。

003A : ナーndaガ チョーシ ワリクテ ネットタッテ チーダンダゲントモ、
なんだか 調子[が] 悪くて 寝てたって 聞いたんだけども、

ナンダ、ヤッパリ スケ° ネ [4] カオ シテ。ドーナンダー。
なんだ、やっぱり すぐれない 顔[を] して。どうなんだ。

004B : ホントナノー。オギランネクテサー、ホントデネンデガス、 マイニジ。
本当なの。 起きられなくてさ、 本調子じゃないんです、毎日。

005A : ンーガ、アンマリ ガンバックカラヤ。ンデ、 スコス ユックリ ヤスンデ。
そうか、あんまり 頑張るからだよ。じゃあ、少し ゆっくり 休んで。

名取市 場面設定会話

(B インダネー) ンー、トスナンダガラ。

(B そうだねえ) うん、歳なんだから。

006B : ハイハイ。(A ハイ) スコシ ヤスムガラネー。

はいはい。(A はい) 少し 休むからね。

007A : インダネ、 オダイジニネ。

そうだね、お大事にね。

008B : ハーイ、(A ハイ) アリカ° トー。

はい、(A はい) ありがとう。

〈 申し出 〉

(12) 体の調子が悪く、家の片付けもできないというBに、Aが「(私が) 片付けてやろう」というときのやりとり。

001B : アノッサー、 ナーndaガ、カゼバリ ヒーデ ホントデネーガラ、
あのさ、 なんか、 風邪ばかり 引いて 本調子じゃないから、

イエノ マワリノ クサモ ソノトーリ、
家の 周りの 草も そのとおり、

ウジンナガモ カダズガナクテ コマッテダノッサー。
うちの中も 片付かなくて 困ってたのさ。

002A : ナーnda、ソんなニ グアイ ワリーノガ。ドレー、マッテロ。

なんだ、そんなに 具合 悪いのか。 どれ、 待ってろ。

ナーnda ホレアー、ハダゲノ クサモ マダ トレネデンダッチャー。
なんだ ほら、 畑の 草も まだ 取れないでいるんじゃないか。

ヨシ、ンデー、オレ イマ ヤッテダ スコ° ド オワッタラ
よし、じゃあ、俺 今 やってた 仕事 終わったら

コーウンチデ ウナッテ [5] ヤッカラ。
耕運機で 掘り起こして やるから。

003B : アイイヤ、アリガデゴダ。 タノムッチャワー。
いやいや、 ありがたいこと。頼むわ。

004A : ン。 ンデー、アド クッカナー。
うん。じゃあ、後[で] 来るからな。

005B : ハーイ。
はい。

〈 禁止 〉

(13) 片付けの最中に、大事な写真をAが間違っ捨てようとしているときに、Bがそれを
制止してどのようにいうか。

001B : アー、オラエノ オoppiサン [6] ノ シャシンダガラ ナケ° ネデ ケサイン。
あー、うちの 曾祖母 の 写真だから 捨てないで ください。

ソイズ ナケ° ナケ° ダドナッター バゲデ デラレッチャワー。
それ ×× 捨てたとなったら 化けて 出られるわ。

イヤイヤ、ハヤグ キーツイデ イガッタ。
いやいや、早く 気がついて よかった。

002A : アー、オレモヤ イガッタナ、ハヤグ オシェデモラッテ。
ああ、俺もさ よかったな、早く 教えてもらって。

ンーナニヤ バゲデ デラレンダッター、 オレ ウラマレンダッタナヤー。
そんなに 化けて 出られるんだったら、俺 怨まれるんだったなあ。

イガッタ。ホレ、コイズ。ホーンデ コンナドゴサ オガネデ、
よかった。ほら、これ。 それじゃあ こんなところに 置かないで、

チャント ス スマッテオゲー。
ちゃんと × しまっておけ。

003B : ハイハイ。アド、ソゴラサ アンノ、ミナ ナケ° デモイーガラー。
はいはい。あと、そこらに あるの、みんな 捨ててもいいから。

名取市 場面設定会話

オネカ° イスッカラ。

お願いするから。

004A : ホガー、ホンデ ホイズ ミナ モッテッテ
 そうか、それじゃあ これ みんな 持って行って

アド ショブンスッカンナー。

あと 処分するからな。

005B : ハーイ。

はい。

宮城県名取市方言会話集（場面設定会話）注記

〔1〕 ヤスミモゴクノウチ

話者によれば「ゴク」は「穀」であり、栄養というような意味だという。「休みを取るのも（飯を食べるのと同じように）栄養のうちだ」という意味。

〔2〕 サググ

さくい（形容詞）の連用形か。話者によれば、「遠慮なく、気さくに」という意味。

〔3〕 エアリ

名取市にある大型ショッピングセンター「イオンモール名取」の旧名。

〔4〕 スケ°ネ

「素気無い」か。「〈スケ°ネ〉カオ」は「〈(気分が) すぐれない、冴えない、調子が悪そうな〉顔」という意味。

〔5〕 ウナッテ

うなう【耨う】。辞書的には「耕す、畝を作る」という意味だが、ここでは「掘り起こす」という意味。

〔6〕 オッピサン

曾祖父母を指すが、ここでは曾祖母のこと。

宮城県名取市方言会話集（場面設定会話）担当者

- 収録担当者** 田附 敏尚（東北大学大学院文学研究科産学官連携研究員）
津田 智史（東北大学大学院文学研究科博士後期課程3年）
- 文字化担当者** 田附 敏尚（東北大学大学院文学研究科産学官連携研究員）